

いきたひ



いきたひ

ドキュメンタリームービー

「看取り・命のバトン」



長谷川ひろ子 監督



故 長谷川秀夫 氏

映画上映会 & 長谷川ひろ子 監督講演会

NHK Eテレ「人生レシピ」出演

人を看取ることによって本当に救われるのは、看取った本人であろう。人生の完結シーンに、優しく寄り添うことで、逝く人から命のバトンを受け取るのだから

長谷川ひろ子

日時 ● 2021年1月24日(日)
開場 ● 14時30分 上映開始 15時
映画「いきたひ」上映、臨終体験
長谷川ひろ子監督講演会

座談会 ● 船戸崇史 船戸クリニック院長
● 長谷川ひろ子 監督
● 小森忠良 岐阜市議会議員

終演 ● 18時
場所 ●  ギフメディアコスモス
みんなのホール 058-265-4101
参加費 ● 2,000円(前売券)
定員 ● 100名

主催 映画「いきたひ」岐阜上映実行委員会 実行委員長 小森忠良
連絡先 〒502-0851 岐阜市鷺山1249-1 携帯 090-7859-8780
申込方法 facebookのイベントページでお申込みまたは、前売り券を購入いただくまたは、メールアドレスtadayosh@ccn.aitai.ne.jpに連絡先を記入しお送りください。

ご来場者へのお願い

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、来場者はマスクの着用をお願いします。また、当日、発熱・咳などで体調がすぐれない方は、参加をお控えいただけますようお願いいたします。



抱きしめて看取る たとえ人生の99%が不幸であっても最後の1%が幸せならば、その人の人生は、幸せなものに変わる
マザー・テレサ

いきたひ
~ 看取り・命のバトン ~

映画に期待する 小森忠良 (上映会実行委員長)

昨年、私は88歳の母を見送りましたが、その時期は私の選挙中ということで、ゆっくりとお別れもできませんでした。本当に試練だと思いました。しかし、今になってそれは、母からの強いメッセージだったと思います。「人生何が起きるかわからない、いつも覚悟して生きなさい」と教えてくれたようでした。死は、多くのことを語ります。死を前向きにとらえることで、それが新たな生きる情熱につながるものとこの映画は教えてくれました。一家の大黒柱の死を家族で自宅で看取る様子を描いたこのドキュメンタリー映画は、私たちが見失いかけている大切なものを思い出すきっかけになると思います。そして、この映画のことをまだ知らないたくさんの方に見ていただきたいです。



長谷川ひろ子 映画監督

ドキュメンタリー映画「いきたひ」監督/フリーアナウンサー。秋田県生まれ。地方局アナウンサーを経て薬学博士の長谷川秀夫氏と結婚、4児の母となる。しかし、2009年に夫は癌で他界。その3年後、映画製作を決意、脚本・ナレーション・編集・音楽の作曲、演奏、歌のほとんどすべてを一人でこなした。以後、上映と講演で全国を走り回り、自主上映は450か所に達する。全国に「いきたひ」ファミリーを生んでいる。



船戸崇史 船戸クリニック院長

1959年岐阜県生まれ。「がんには、自分のメスでは勝てない」と根本的な治療を目指して、1994年に岐阜県養老町にクリニックを開業。西洋医学を中心に、東洋医学や補完代替医学を取り入れ、全人的な治療、診察を行っている。また2018年、日本初の「がん予防滞在型リトリート リボーン洞戸」を開業、新しいアプローチで、再発転移の予防に取り組んでいる。



会場へのアクセス

みんなの森 ギフメディアコスモス 岐阜県岐阜市可町40番地5

電車をご利用の場合

- JR岐阜駅または名鉄岐阜駅より徒歩約25分

バスをご利用の場合

- 「メディアコスモス前」バス停下車すぐ
- 「市民会館・裁判所前」バス停下車すぐ
- 「メディアコスモス・鶯谷高校口」バス停より徒歩3分
- JR岐阜駅または名鉄岐阜駅から約15分

車をご利用の場合

- 東海北陸自動車道・岐阜各務原ICから車で約20分
- 名神高速道路・岐阜羽島ICから車で約30分
- 有料駐車場 約300台 (30分/100円)

